

【高等学校】 第1学年 「保健体育科（科目保健）」の指導計画

単元名	内容のまとめり
生活習慣病などの予防と回復	(1) 現代社会と健康
単元の目標	
<p>(1) 【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。 <p>(2) 【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を見出すことができるようにする。 学習内容を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができるようにする。 自他や社会の課題の解決方法と、その解決方法を選択した理由などを話し合ったり、自分の考えをまとめたりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 <p>(3) 【主体的に学習に取り組む態度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病などの予防について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<p>①生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること及び定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②がんには、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を見いだしている。</p> <p>②学習内容を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>③自他や社会の課題の解決方法と、その解決方法を選択した理由などを話し合ったり、自分の考えをまとめたりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>①生活習慣病などの予防について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

指導と評価の計画（科目「保健」 全5時間）

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>○がんの原因と予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの発生とその原因について理解する。 ・予防に向けた正しい生活習慣について理解するとともに、自分の生活を振り返る。 ・がんの種類やその特徴について必要な情報を集め、自分の考えをまとめる。 <p>がん情報サービスを活用し、がんの原因や特徴について情報を集め、ワークシートにまとめる。</p>	○			小テスト
2	<p>○がんの治療と回復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの治療法について理解する。 ・がんの治療方法やがん患者の生活の質等をはじめとするがんと共生について、教科書などの情報を基に自分の考えをまとめる。 <p>がんの治療方法やがん患者の生活の質について考え、ワークシートにまとめる。</p>	○	○		観察、ワークシート
3	<p>○がん経験者の講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん生活の実際について理解する。 ・がん患者の心情について理解する。 ・がんと共生について理解する。 <p>次時に、がんと共生についてまとめることを前提に講話を聴き、ワークシートにまとめる。</p>			○	ワークシート
4	<p>○がんと共生についてのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ（4名）でがんと共生について考え、スライドにまとめる。 ・スライドには、①がん患者（当事者）、②がん患者の家族、③社会（雇用者など）と、異なる立場をスライドのテーマとして設定し、がんと共生について考える。 <p>グループで意見交換を行い、考えをまとめ、発表の準備をする。</p>		○		観察・成果物（スライド）
5 ※ 本 時	<p>○発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワールドカフェ方式でグループ毎の発表を行う。 ・他のグループと考えが異なる部分についてグループ内で共有し、最終的な考えをまとめる。 <p>他のグループとの交流を通して、自分たちのグループにはなかった考え等を踏まえ、より自分たちのグループの考えを深める。</p>		○	○	観察 ワークシート（グループごとに提出）

本時の指導案（5/5時間）

<p>本時の目標</p>	<p>自分のグループと他のグループの発表を通して、自他の考えの違いに気付き、自分のグループの考えをより深めて、がんとの共生について考えをまとめることができるようにする。</p>		
<p>段階</p>	<p>学習内容と学習活動</p>	<p>学習形態</p>	<p>教師の指導と支援（◆評価規準と方法）</p>
<p>導入（5分）</p>	<p>○前時（講話）の振り返りを行う。 ○本時の準備 ・発表の実施方法 →他グループの発表を聞きに行き、その内容をまとめ、自分のグループに持ち帰る。</p>	<p>一斉</p>	<p>・第2学年と合同で授業を実施する。 ・グループの発表 （発表3分、質疑・応答2分、移動1分） ・各グループのブースを設定し、発表はタブレットを使用させる。</p>
<p>展開（37分）</p>	<p>○各グループの発表（6分×4回） （発表3分、質疑・応答2分、移動1分） ・発表者は自分のグループのブースに待機し、時間になったら発表を行う。 ○最終的な考え方の共有・発表（8分） ・他のグループの発表内容を共有し、自分のグループとの違いについてまとめる。 ・まとめた内容をグループ内で発表し合う。</p>	<p>グループ</p>	<p>○同じグループの発表を聴くことにならないように班内で連携させる。 ○発表グループの意見については、肯定的に捉えるように促す。 ○他グループの発表を聴く時は、メモをとるように促す。 ◆【態】観察 他のグループの発表を聞くことやグループでの話し合うことを通して、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。 ○本単元の学習を通して、生徒自身が生活をする上でのがんとの共生について及びがんとの共生する社会作りについて、考えをまとめること。</p>
<p>まとめ（8分）</p>	<p>○本時のまとめ（8分） ・最終的に自分のグループでまとめた内容について、複数のグループが発表する。</p>	<p>一斉</p>	<p>○ワークシートの回収 ◆【思】ワークシート 自他や社会の課題の解決方法と、その解決方法を選択した理由などを話し合ったり、自分の考えをまとめたりして、筋道を立てて説明することができる。</p>

工夫のポイント

- ・発表をワールドカフェ方式にすることにより、多くのグループの考えを聞く機会を設定した。
- ・本時の授業を第1学年及び第2学年の合同授業とすることで、がんとの共生について多くの生徒から様々な意見を聴く機会を設定し、自己の考えを深められるようにした。

